

令和7年度第3回（第56回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和7年11月7日(金) 13:30 ~ 15:04
場 所	魚沼市役所本庁舎 3階 議会会議室
出席委員	18人（うち代理出席2人） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	7人
事務局	6人
傍聴者	0人
会議次第	1 開会 2 開会あいさつ 3 議 題 （協議事項） (1) 第二次魚沼市地域公共交通計画（基本方針、施策等）について（資料1） 4 その他 5 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	<p>定刻になったので、令和7年度第3回目魚沼市地域公共交通協議会を開会する。</p> <p>本日の会議は、委員総数25名のうち、18人の出席をいただいております。協議会規約第12条第2項に定める過半数以上の定数に達していることから、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は評議会規約によりまして、原則として公開で行うこととしているのでご了承願う。</p> <p>初めに会長の内田市長がご挨拶を申し上げます。</p>
-----	---

2 開会あいさつ

内田会長 (魚沼市長)	<p>日頃、市が行う様々な事業について、皆さんからご理解ご協力いただいております。改めて感謝を申し上げます。</p> <p>今年もあと2ヶ月となるが、本題に入る前にクマの話をさせていただきたい。今年10月末現在で、目撃の通報が172件出ている。昨年は41件であったので、4倍以上出ているということになる。市の職員は、朝6時半ごろ出勤をして2台の自動車でパトロールに出て、また夕方も同様にパトロールに出ている。消防も要請があればすぐ別働隊で出ており、警察関係者と共に出ている。</p> <p>全職員に対して絶対に事故を起こさないように厳しい指示を出している。</p>
----------------	--

	<p>今後、マラソン大会等予定しているイベントをできるだけ中止せずに開催する方法を検討している。先日の農業祭も、前日から投光器をつけてクマを寄せつけない、また音を出すなどの対策をして開催している。</p> <p>皆さん方のところにも、ラジオ、防災無線、回覧版など様々な手段でのお知らせによりお騒がせしており、ご迷惑をおかけしてるかもしれませんが、人身被害を出さないためのお知らせでありますので、ぜひご理解ご協力をいただきたい。</p> <p>今年の2月から実証運行をしているのーと魚沼について、9ヶ月が経過した。利用回数も、利用者数も伸びている。</p> <p>一方で運行の中で課題が抽出されている。関係事業者の皆さんと、課題を共有し、今後の本格運行に向けて課題を解決しながら進めて参りたい。</p> <p>今日は改定作業を行っている地域公共交通計画について、前回会議でお示した課題に対して設定した基本方針・目標について協議いただき、また施策のイメージについても引き続き皆さんからご意見をいただきたい。</p> <p>実効性のある計画を目指している。ぜひ忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>本日の出席者について、本日配付した出席者名簿をご確認願う。</p> <p>協議会規約により、議事進行を内田市長に交代する。</p>

3 議 題

(協議事項)

(1) 第二次魚沼市公共交通計画（基本方針、施策等）について

事務局	《第二次魚沼市公共交通計画（基本方針、施策等）について（資料1）説明》
内田会長 (魚沼市長)	<p>3章まで説明したが、質疑はないか</p> <p>確認させてほしい。9ページの、達成度評価指標について、観光で令和元年度165万人と記述があるがこの後の22ページの説明の中では、令和元年度150万人と記述されて、それ近づいてきたという説明がある、どちらが正しいか。</p>
事務局	ご指摘の通り人数を間違えている。次回正しい数字をお示しする。
内田会長 (魚沼市長)	バスの運転手の数が64名増えてる。人手不足が深刻と言われているが事実なのか。何をもとに出した数字か。
事務局	バス会社に聞き取りと文書により報告いただいた。乗合分と貸切分とで項目を分けて運転手の人数を記入いただいた。貸切分も含めた人数をここに掲載してしまった。

内田会長 (魚沼市長)	わかりました。
浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	42 ページの入広瀬コミュニティバスの乗車人員について、上方方面と大地山・穴沢方面の人数が同じとのことであるが、間違いではないか。
事務局	確認して改める。
山之内委員 (広神連合自治会)	公共交通について私の認識不足で伺いたいが、49 ページからの公共交通に対する満足度について、住民、高校生、利用者と3つに分けてアンケート取っている。この分け方は何か相関関係があるのか。各関連性のある表記なのか。例えば計画を作るとか対策を立てる段階で、住民と高校生と利用者の3者はアンケートの対象として必要なのか。 これまとめて表示してあるわけですから、ちょっと疑問だったんです。
事務局	公共交通を利用されるメインターゲットとなるのが高齢者、高校生であり、もちろん利用者である。その方たちがどの程度満足しているかをアンケートで把握した中で、計画に反映させていきたいため、アンケートをとっている。
山之内委員 (広神連合自治会)	「住民」の中には高校生も利用者も含まれるのか。
事務局	「住民」については65歳以上の方のみになる。
山之内委員 (広神連合自治会)	「利用者」にも高齢者が含まれるはず。「住民」としている高齢者とは利用していない高齢者ということか。) それぞれアンケートをとる理由がわからない。
事務局	前回との比較のため、そのように分類した。
山之内委員 (広神連合自治会)	このアンケート結果も計画やバス便数などに反映されるということか。
事務局	それも含め検討していきたい。

山之内委員 (広神連合 自治会)	私はこれ、あんまり関係ないんじゃないかなと感じた。
井口委員 (魚沼市自 立支援協議 会)	<p>質問というよりも意見、お願いということで発言をさせてもらう。この計画の中には当然基幹病院の必要性ということで触れられているので、ありがたいが、当然のことながら市外の基幹病院に行く人達が少なくなっていく。今定期バスで4便あるが、利用しやすいダイヤになっているか、或いは本当に使いやすいものになっているかという、少し疑問がある。これからまたダイヤを検討したり、難しいとは思いますが増便することも利用者のことを考えたうえで計画の中に入れていただきたい。</p> <p>もう1つは乗合タクシー、のる一とについて、スマホとか持っている人たちには大変便利にで非常にいいことであるが、だんだん高齢者になったり或いはスマホを持っていない人の利用についても考えてほしい。少数ではあっても利用の仕方を説明してほしい。今までも説明会を開いていたが、そのような人たちが利用できるように、今後も説明する機会をどんどん増やしてほしい。アンケートでも、わからない、利用がしにくいという意見がある。特に高齢者、障害者等の方で、使いたくても使い方がわからないって人の声も聞こえる。説明会の機会をぜひつくりたい。</p>
内田会長 (魚沼市長)	ありがとうございます。事務局から回答願う。
事務局	<p>この後の、第5章の施策のところでも記載してあるが、基幹病院までは小出地域から路線バスで一本で行けるが、各地域からになると乗り継ぎが必要になってくるということで、その乗り継ぎがうまくできるのかということも含めて、今後、ダイヤを見直すなど検討していく。</p> <p>のる一との説明会について、だいたい電話予約からスマホ予約に移行している方も実際にいる。アプリ、LINEで予約する方が、3分の1強ぐらいになってきている。アプリ、LINEでの予約が便利ということで切り替える方もいる。</p> <p>一方、スマホで予約するのが難しいと感じている方については、電話でなく、スマホからの予約もできることを説明会等で周知していきたい。</p>
上村委員 (広神連合 自治会)	<p>質問と要望と、私なりに疑問があるので、お話する。</p> <p>質問は9ページの、表の中に、「収支率」とあるが、経費分の収入と考えていいか。過去にもこの言葉は出てきたか。その際に説明はあったか。</p>

事務局	<p>運行経費に占める運賃収入の割合である。前回の計画の中でも、目標値として設定している。今回は、その算出方法について記載を追加した。</p>
上村委員 (広神連合自治会)	<p>2つ目は要望であるが、事前の資料配布があり、今回よく確認した。私なりに、わかりづらい部分がある。表現に改めたほうがいいと感じた部分が多いため、ここで話しする時間がないので、後で別個にお送りしてもよろしいか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。後程伺いさせていただきます。</p>
上村委員 (広神連合自治会)	<p>最後に疑問であるが、堀之内地域での認知度と、利用者数が逆転しているようだ。認知度は令和2年の方が高かったのに、令和6年度は下がっている。ところが利用者数は逆に増えている。事務局で理由を把握しているならば教えていただきたい。知ってる人が数多く利用してる、ということか。</p>
事務局	<p>1人の方が複数回利用するということがあるため、利用者数が伸びるということは考えられる。</p>
上村委員 (広神連合自治会)	<p>今まで旧6町村で分けをしていたが、のる一とになってからは利用者は小出だけではない。ことさら「小出地域(のる一と運行)」というふうに表示するのは不適當。例えば大型スーパーは湯之谷地区にあたる。旧町村をまたいで利用する方もいる。旧町村の分けについて今後考えていく必要があると感じる。今回58ページの基幹軸と支線という区分が大変わかりやすくなっていると感じた。1つの市を大局的な見方で区分するのは、いい方法であると感心した。</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>最初は47ページの市外への移動手段のところで、利用者数は何らかの形で入手される予定はあるのでしょうか。このままだとどれくらい使っているのか、例えば接続なんかも含めてどうなっているのかがわからない。市外に出られる方は、駅と高速バスもかなり重要な手段になるため、その辺のところをちょっと考えていただきたい。</p> <p>38ページののる一とのところは修正するという話だった。どういう修正をするのか聞き逃したため、もう1回説明いただきたい。</p>
事務局	<p>のる一とのところについて、各月の利用者数が前回協議会で提出した資料と違っているため、この部分を正しい数値に修正する。</p>
宮腰委員	<p>下の図時間体別の方は、いかがか。</p>

(長岡工業 高等専門学校)	
事務局	上の数字も見直すため、関連しているため下の図もあわせて確認する。
宮腰委員 (長岡工業 高等専門学校)	47 ページの高速バスはいかがか。
事務局	高速バスについては、今後、数値などを収集したい。
宮腰委員 (長岡工業 高等専門学校)	接続も含めて確認いただきたい。
内田会長 (魚沼市長)	他に質問等無いか。第1章から第3章、未記載の部分もあり、今後修正確認することもある。それを修正する前提で、第1章から第3章について、承認することとしてよいか。
委員一同	異議なし【承認】
内田会長 (魚沼市長)	第1章から第3章については、未記載の部分、また、修正するところを修正した中でまた次回改めて説明を求めることを前提として承認とする。
事務局	第4章説明
内田会長 (魚沼市長)	第4章について質問等ありませんか。 それでは第4章について承認するととしてよいか。
委員一同	異議なし【承認】
事務局	5章説明
内田会長 (魚沼市長)	第5章の目標達成のための施策事業ということであります。 要のところだと思いますので、皆さんから質問意見等ありましたらお願いしたい。

<p>小島委員 (魚沼市タクシー協会)</p>	<p>のる一と、小出地域の乗合タクシーは、今、水の郷工業団地まで行っている。前は法律的に他の市町村には入れなかったのが、これが法律で他の市町村へも行けるようになったが、基幹病院まで行くことを検討していないのか。基幹病院まで行けるようになれば、利用者は大変便利になると思う。</p> <p>もう1つ、運賃の改善について8年度で検討することになっているというのは、8年4月からは変わらず、今から検討して、9年4月には運賃を上げるということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基幹病院への乗合タクシーについて、今現在、路線バスが走っていること、乗合タクシーは路線バスを補完する役割であることから、路線バスとの兼ね合いがある。他市町村を跨ぐので、南魚沼市の協議会の中でも協議・調整が必要であり、運行は難しいと認識している。まず、その方向に行くように検討するというところまでもまだっていない状況である。</p> <p>それから運賃改善につきましては、この表に示したとおり8年度は検討する年度になっている。8年4月から改定するというわけではない。</p>
<p>小島委員 (魚沼市タクシー協会)</p>	<p>ただ、今、財政の方が大変逼迫してる中で、このデマンド交通、まだ大分お金がかかる。早急に利用者からの負担も今は300円であるが見直していただきたい。</p> <p>また、全国的にもインバウンド観光客の方、いろんな場面で新たな負担を求めることを聞く。タクシーで大湯まで6000円かかるところを乗合タクシーでは400円で行ける。観光客には「本当に400円でいいのか。(安すぎる)」と尋ねられる。観光客にはもう少し負担いただいて、住民と観光客との差をつけるべき。</p> <p>最後に1つお願いですが、担当部署の方並びに市長も含めてのる一とに乗ってみてほしい。1回でいい。担当の方は特に1日乗ればどういう動きをして、どういうところが問題があるか、すぐわかるはず。こうやって言葉で言ったり、アンケート結果、数字で見るとよりも、実際の現場1日一緒に乗って状況を把握していただいて、良い方向に持って行っていただきたい。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>すぐに乗りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>運賃改定について、この計画書に記載してあるとおり、確かに安価であるが、今まで改定した経過などを踏まえて、あとは昨今の人件費や物価の高騰も反映させて、適正な運賃を設定していきたい。</p> <p>観光客の運賃については、差をつけるという意見も前回の協議会でも</p>

	<p>出たが、差をつけることがいいのかどうか、例えば差をつけるとすればどうするか、どの程度の金額にするか、観光客と住民をどう区別するかということも含めまして、今後市の方で検討していきたい。</p> <p>のり一について、私は用事がある時はなるべく利用するように心がけているが、1日や半日乗ることはこれまでない。単発で乗ると、運転手と話をして、いろんな問題があるんだよと話を聞いたりもする。半日乗ってどんな状況かを確認してみたい。今後可能であれば、担当としてはやらせていただきたいと思う。</p>
<p>小島委員 (魚沼市タクシー協会)</p>	<p>利用者からいただく運賃については、できるだけ早く検討していただきたい。最低賃金が毎年大分上がっている、60円から100円ぐらい。1500円を政府は目標にしている。それに対してタクシー業者は、12月、1月頃に運賃改定がある。それに合わせて4月からいただく運行費用の方も上げていただくようになる。</p> <p>そしてみんな上がっていく中で、今の300円が500円になったからどのぐらい収入が増えるかという部分もあるが、今物価が動いている中で、速やかに反映させるために、今からも検討すべきと思います。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>ご意見として伺っておきます。</p>
<p>井口委員 (魚沼市自立支援協議会)</p>	<p>先ほどの小島委員(魚沼市タクシー協会)からの発言にもあったが、のり一が基幹病院まで足が伸ばせるって可能性ができたっていうことでお聞きした。以前、乗合タクシー時代から、水無川を越えて基幹病院まで足を伸ばして欲しいという要望を続けてきた。そのときの回答は、法律的な規制があり、できない、基幹病院は他市町村の区域になるためできない、それ1点の回答であった。今回、そういう規制がなくなったということであれば、その可能性はできた。路線バスとの重複区間があるのは承知しているが、障害の1つが取り除かれたのだから、協議会として、いい方向に持っていく努力をして欲しい。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>検討していきたい。</p>
<p>武藤委員(南越後観光バス株式会社)</p>	<p>手前どもの路線バスより乗り合いのデマンドタクシーが安いというケースは、弊社のグループのエリアの中では極めてまれなケースであるため、運賃の見直しについて併走する路線バスより高めの設定をお願いする。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>意見ということでお伺いさせていただく。 他にご意見等ありませんか。</p>

委員一同	<p>第5章については今いただいた意見をもとに、検討させていただく中で、またお示しをしていきたい。スピード感が必要だという意見もあったため、その辺を踏まえて、進めていければというふうに思いますので事務局の方よろしく願う。</p> <p>第5章については、協議を終了してよいか。</p> <p>異議なし【承認】</p>
------	--

4 その他

事務局	<p>皆さんに配布した「バス無料乗車体験」のチラシについて、先月10月18日に大農業祭・食まちうおぬまのイベントの中で、環境交通安全フェアを開催し、その中で、バスの無料乗車体験というイベントを行いました。乗車体験コースとして3便設定して、1便3便については、響きの森公園を出発して、魚沼市役所経由して戻るというコースとした。2便については、南越後観光バスの小出営業所を経由して洗車機をくぐって戻るというコースとしたが、3便いずれも定員30人として受付をした。すべての便において、予想を超える入場者があり、合計で113人に乗車いただいた。子供と大人と含めた人数である。そのうち半分を超える人数を子供が占めていたという状況であった。南越後交通の武藤委員（南越後観光バス株式会社）に補足願う。</p>
武藤委員(南越後観光バス株式会社)	<p>今年で3年目になるが、バス無料体験乗車ということで、魚沼市生活環境課から依頼を受けて開催した。年々参加者も増えてきて、定着してきたと感じている。路線バスの利用促進のため、またこれをきっかけに運転手になりたいという子供が出てきてほしいと期待を込めて今後もまた継続していきたい。</p>
事務局	<p>配布した「魚沼市公共交通マップ」について、9月25日号の市報お知らせ版と一緒に全戸配布した。JR、路線バス、乗合タクシーなどの時刻表との一と魚沼の利用方法、停留所の名称などが載っている。</p> <p>マイ時刻表ということで、普段よく使うような時刻表を自分で管理しやすいために、手で記入できるようにしている。</p> <p>若干情報量が多いためにかえって見にくい部分もあるかと思うが、これを持っていれば、市内での移動がすべて網羅できる、ということで作成した。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>ほかにないようであれば、全ての議事について以上で終了とする。進行を事務局にお返すする。</p>

5 閉会

<p>事務局</p> <p>宮腰委員 (長岡工業 高等専門学 校)</p>	<p>閉会に当たり、宮越副会長から閉会のご挨拶をいただく。</p> <p>ご議論いただき施策も検討されていてよくなる方向にあると思う。アンケートによると、乗合タクシーの認知度が 50 から 70% ぐらいで比較的高いとの記述があるが、前回 5 年前に比べると各地区とも相当低下している。公共交通に対する認識が下がっている、ということを示している。こういう機会にこそ認知度を上げていくべきである。説明会の開催など市だけに頼るのではなく、委員の皆様の何らかの関わりの中で、こういうものがあるんだよと広く伝えて、公共交通に対する認識を上げていくような形にしていいただければと願う。</p>
---	---

別紙

令和7年度 第3回（第56回） 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

（敬称略）

No.	所属等	職名	氏名	備考
1	魚沼市	市長	内田 幹夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長岡統括センター	浦佐駅長	中島 宏明	兼湯沢駅長 欠席
3	南越後観光バス株式会社	乗合営業部 部長代理	武藤 文昭	
4	魚沼市タクシー協会	会長	小島 由紀子	
5	ひかり交通株式会社	代表取締役	佐藤 貴宗	
6	入広瀬コミュニティ協議会	会長	浅井 宏一	
7	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所計画課	建設専門官	小越 千春	代理出席
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部 計画調整担当	計画専門員 (総括)	坂井 浩	欠席
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和久	監査員
10	新潟県小出警察署	署長	村上 知光	欠席
11	根小屋連合自治会	会長	上村 勤	監査員
12	小出干溝区連合自治会	会長	大平 祐介	欠席
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会	会長	星 良浩	
14	広神連合自治会	会長	山之内 隆	
15	守門地区区長会	会長	榎本 珠喜	
16	入広瀬地域区長会	会長	浅井 重吉	
17	長岡工業高等専門学校	名誉教授	宮腰 和弘	副会長
18	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課	課長	大村 進太郎	欠席
19	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	嶋 毅彦	欠席
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興グループ	地域振興 専門員	柳田 正和	
21	新潟県立小出高等学校	校長	高松 利治	欠席
22	魚沼市老人クラブ連合会	副会長	佐藤 彰	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井口 正博	
24	南越後観光バス労働組合	執行委員	姉崎 英明	代理出席
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂野 孝	